



No. 9-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成22年度第1回

国道2号
こうべにし
神戸西バイパス

【再評価】

平成22年7月
近畿地方整備局

目 次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 関係自治体の意見等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 対応方針(原案)

1. 事業の概要

事業の目的

- 交通混雑の緩和
 - 地域の活性化
 - 交通安全の確保

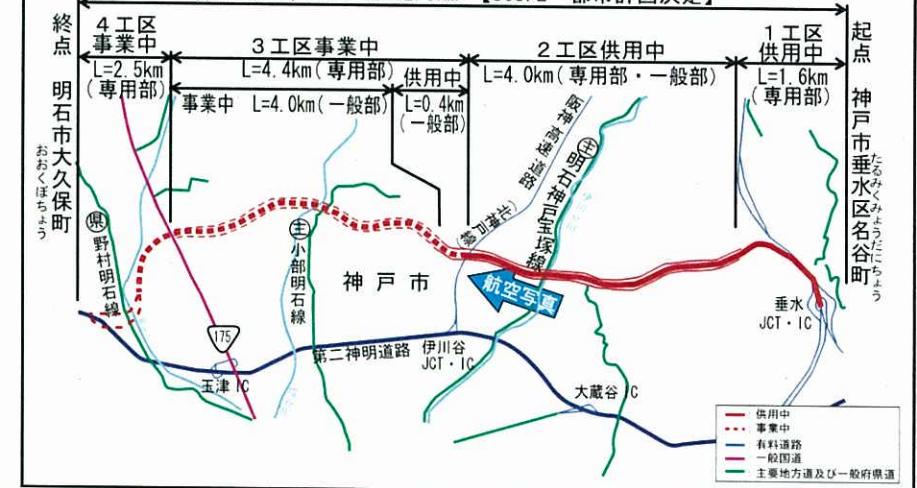
計画の概要・進捗状況

区間	たるみくみょうだにちょう (起)兵庫県神戸市垂水区名谷町 おおくぼちょう (終)兵庫県明石市大久保町
道路延長	専用部:L=12.5km 一般部:L= 8.4km
構造規格	専用部:第1種第3級 一般部:第3種第2級
設計速度	専用部:80km/h 一般部:60km/h
車線数	専用部:4車線 一般部:2車線
標準幅員	W=22m~42m(うち専用部22m)
計画交通量	25,400台/日
全体事業費	1,900億円
事業化	昭和63年度
都市計画決定	昭和63年2月
用地着手	平成元年度
工事着手	平成3年度
供用延長	専用部:L=5.6km 一般部:L=4.4km
事業進捗率	約72%(平成22年3月末現在)
用地取得率	約86%(面積ベース、同上)

位置圖

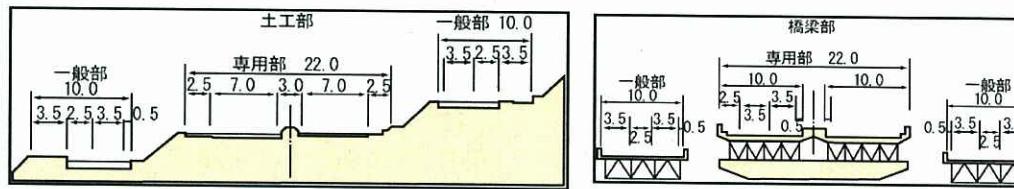


神戸西バイパス L=12.5km 【S63.2 都市計画決定】



標準横断図

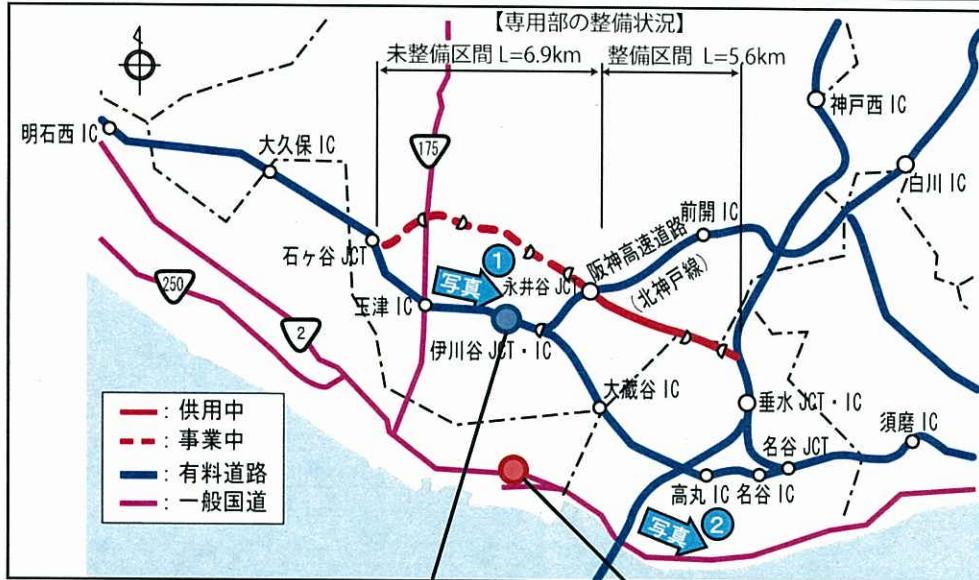
【单位:m】



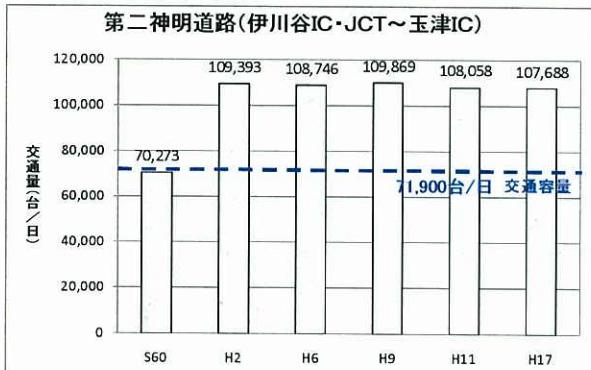
2. 事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化(交通量の変化)

■ 東播磨地域～神戸市間を東西に結ぶ主要道路2路線(国道2号・第二神明道路)の交通量の変化は横ばいであるが、交通容量を超過。



24時間交通量の変化



※交通容量はH17センサス交通量より算出

出典:道路交通センサス

写真①: 第二神明道路



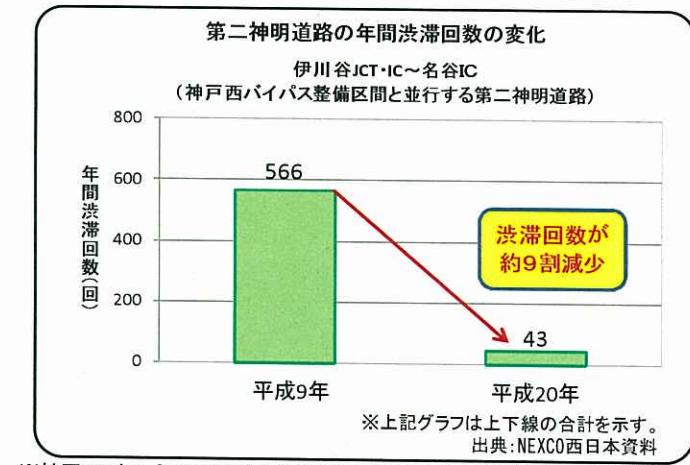
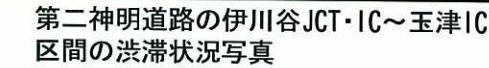
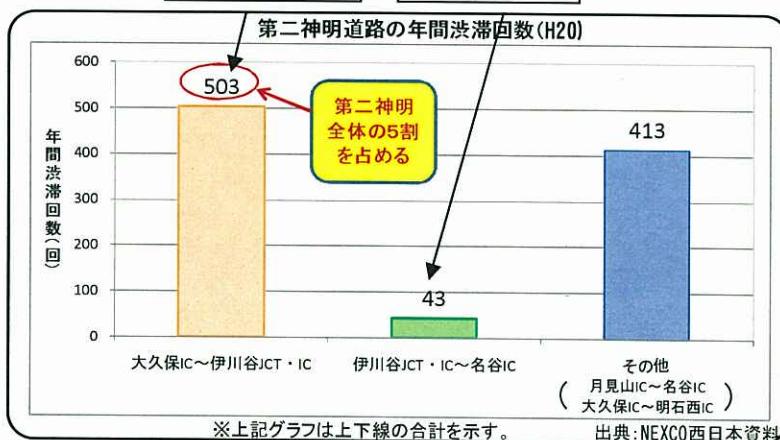
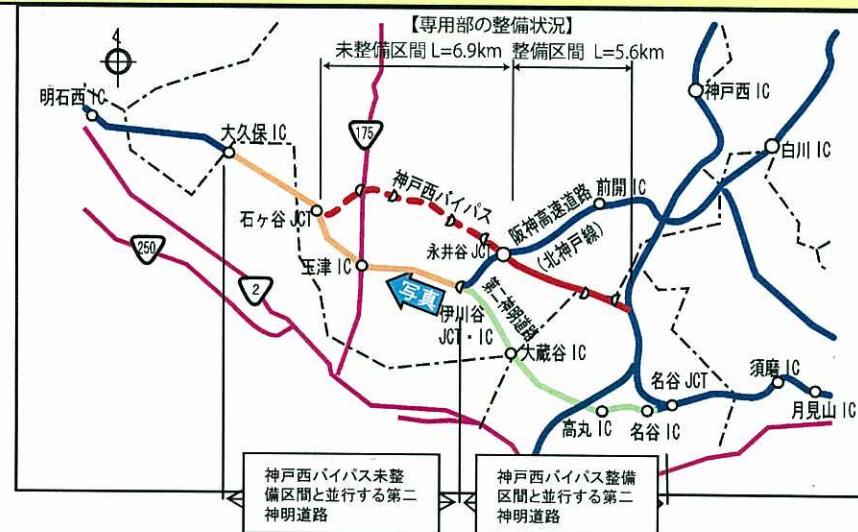
写真②: 国道2号



2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 神戸西バイパス未整備区間と並行する第二神明道路では、年間で第二神明道路全体の約5割を占める約500回の渋滞があり、交通渋滞が頻繁に発生。
 - 神戸西バイパス等の整備により並行する第二神明道路の渋滞回数が、約9割減少。
 - 神戸西バイパスの整備により、第二神明道路の交通混雑が緩和され走行性の向上に期待。

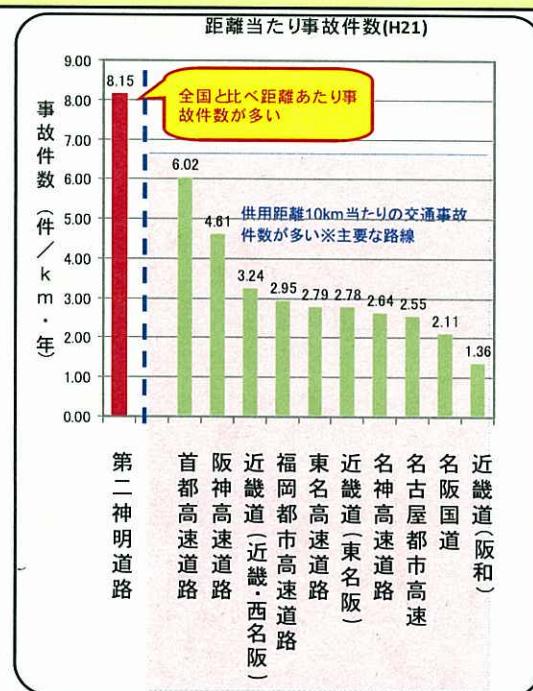


※神戸西バイパス(H10部分供用)供用以後の主な周辺道路の整備状況
神戸淡路鳴門自動車道(H10全線供用)、阪神高速北神戸線(H15全線

2. 事業の必要性等に関する視点

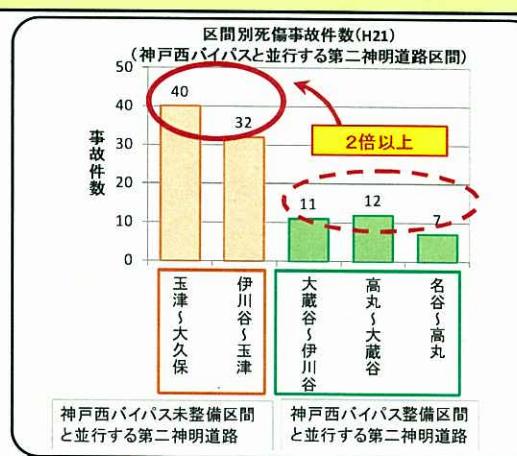
2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 第二神明道路は全国の自動車専用道路と比較して事故件数が多く、交通安全の確保が課題。
- 神戸西バイパス未整備区間と並行する第二神明道路は、整備済み並行区間と比べ2倍以上死傷事故が発生し、その大半が渋滞に起因する追突事故である。
- 神戸西バイパスの整備により、第二神明道路の交通混雑が緩和され、事故の減少が期待される。
- また、第二神明道路の事故等による通行止め時の迂回路として寄与することにも期待。

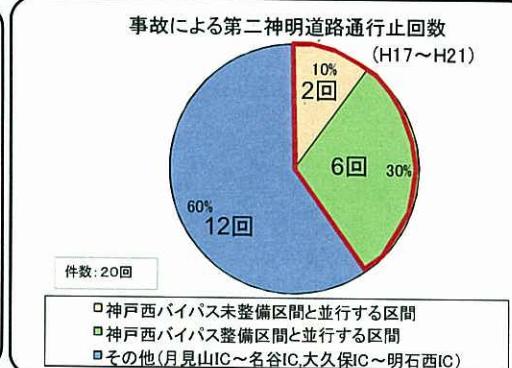
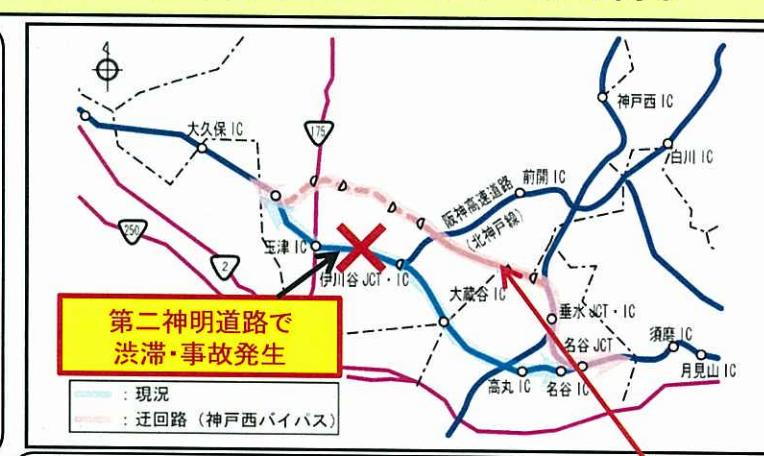


出典: 第二神明道路以外は警察庁HP
(交通事故統計)

第二神明道路は兵庫県警の資料を元に算定



グラフ(上の2つ)出典: 兵庫県警



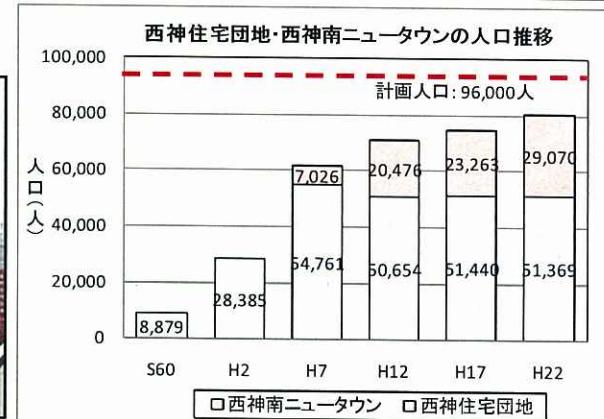
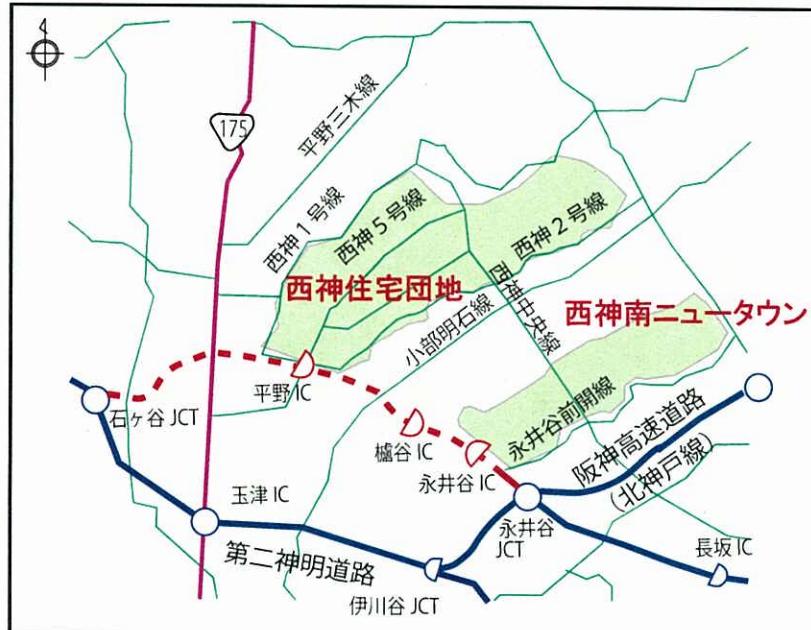
第二神明道路で渋滞・通行止となつた場合、
神戸西バイパスが迂回路となる

出典: NEXCO西日本資料

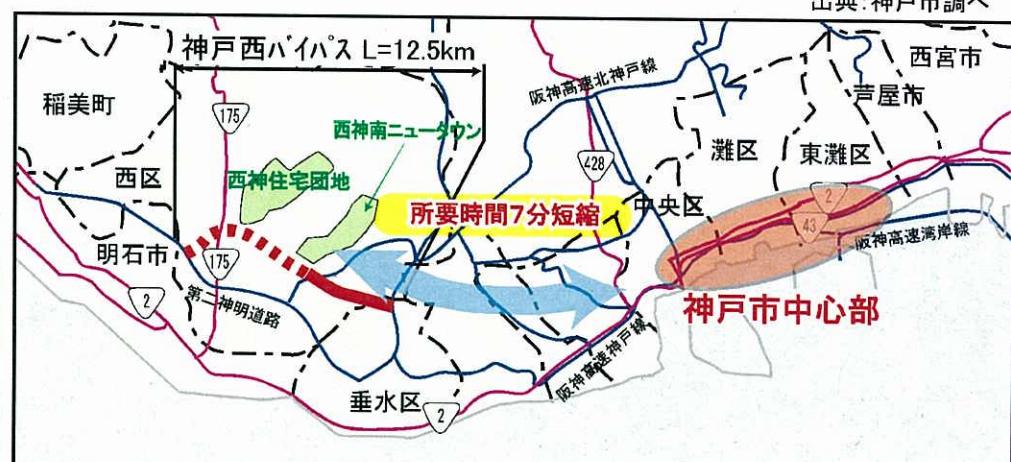
2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(地域の活性化)

- 神戸市西区では、西神住宅団地・西神南ニュータウンの開発により計画人口約96,000人に對し、現在約80,000人の人口が定着しており、今後も人口の増加が見込まれる。
- 神戸西バイパスの整備により神戸市中心部へのアクセス性が向上し、地域の活性化に寄与。(西神住宅団地→神戸市中心部:7分短縮)



事業名	①西神住宅団地 ②西神南ニュータウン
計画人口	約96,000人 (①:約61,000人、②:約35,000人)
現在の人口	約80,000人



出典: 神戸市調べ

2. 事業の必要性等に関する視点

3) 事業の投資効果

■便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能かつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■事業全体

便益(B)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	3,247億円	381億円	73億円	3,701億円	
費用(C)	事業費	維持管理費		総費用	
	2,459億円	114億円		2,574億円	1.4

■算出条件等

基準年 : 平成22年度
検討期間 : 50年間
現在価値算出のための
社会的割引率 : 4 %
交通量の推計時点 : 平成42年度
推計に用いた資料 : 平成17年度
道路交通センサス

■残事業

便益(B)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	1,957億円	254億円	32億円	2,243億円	
費用(C)	事業費	維持管理費		総費用	
	419億円	61億円		479億円	4.7

適用した費用便益分析
マニュアル : 平成20年11月版
事業費 : 1,900億円
維持管理費 : 43百万円/km専用部
27百万円/km一般部
作成主体 : 近畿地方整備局

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

2. 事業の必要性等に関する視点

4) 関係自治体の意見等

■神戸市長

平成22年7月12日 神建道計258号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

神戸西バイパスは、交通混雑が著しい神戸西部地域において、第二神明道路とともに東西の広域交通を分担する広域幹線道路である。

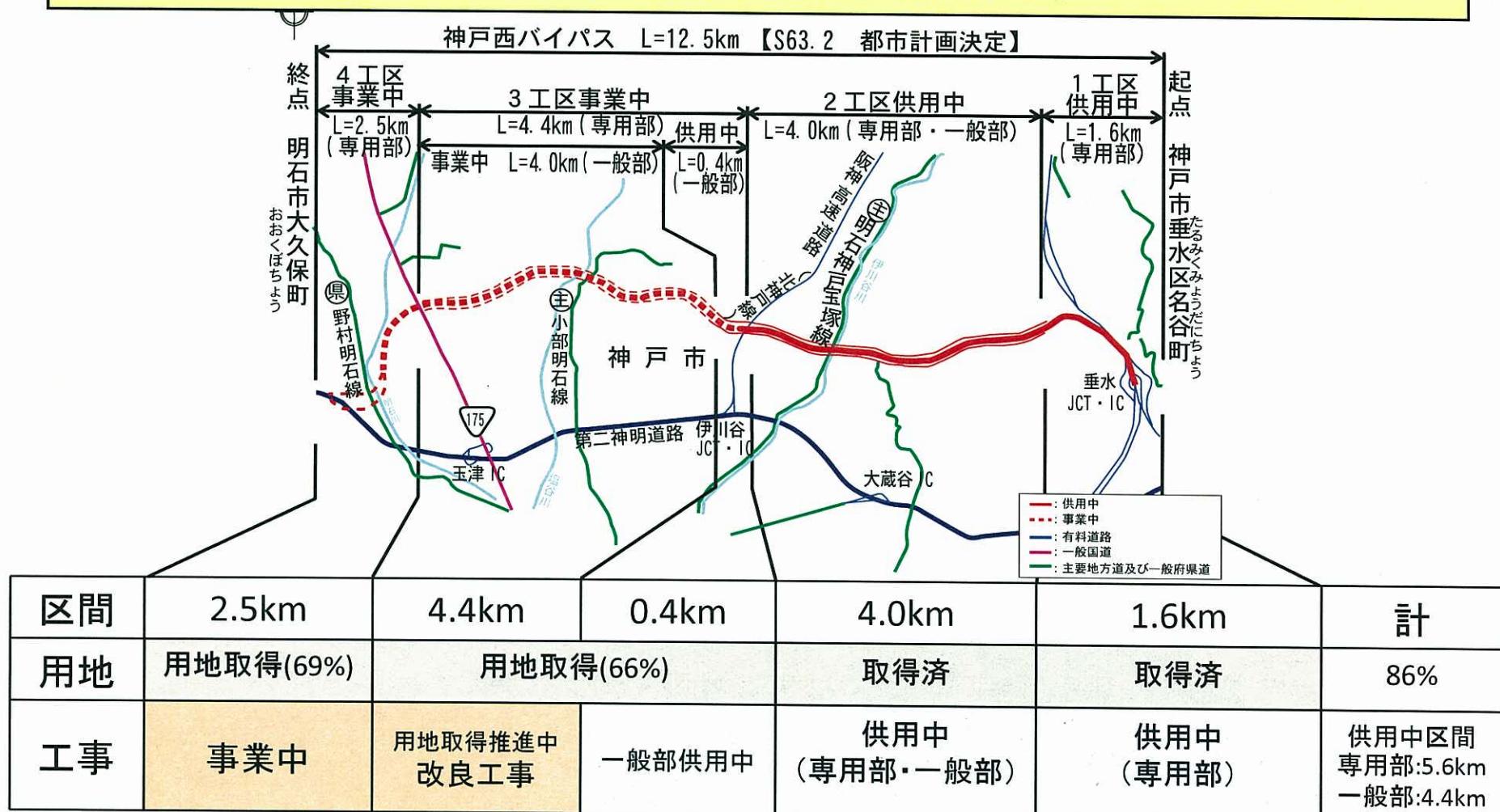
第二神明道路の交通渋滞を解消し神戸市都心部へのアクセスを向上させるためにも、事業を継続し、現在整備が行われている一般部を早期供用させるとともに、専用部についても早期延伸を図るべきと考える。

地域計画等への位置付け

- ひょうご21世紀交通ビジョン(兵庫県) 平成7年10月
- 神戸2010ビジョン(神戸市) 平成17年6月
- 明石市第4次長期総合計画(明石市) 平成13年3月
- 全県ビジョン推進方策(第2期)(兵庫県) 平成18年3月

3. 事業進捗の見込みの視点

- 神戸西バイパスは平成10年度までに、専用部:L=5.6km、一般部:L=4.4kmの区間を供用しています。
- 残る区間については、用地取得及び改良工事を推進しています。
- 引き続き事業を推進し、一般部の早期の供用を目指します。



※用地進捗率は、平成22年3月末の面積ベース

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

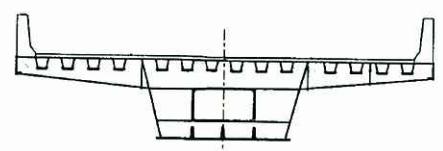
神戸西バイパスの計画は、第二神明道路や国道2号の交通混雑の緩和や災害時の交通確保等を目的に周辺の土地利用状況等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺の環境や景観の保全を図りながら、引き続き事業を推進していきます。



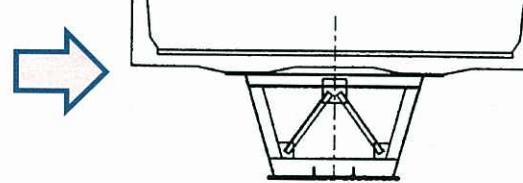
計画段階では、橋梁形式を連続鋼床版箱桁から連続開断面箱桁に見直し、また、施工段階では、新技術・新工法を活用し、車道の街渠を現場打ち街渠＋円形水路からプレキャスト縁石＋卵形水路にするとともに、現場打ちL型擁壁を大型補強土壁にする等、コスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

橋梁形式の見直し

見直し前



見直し後



連続鋼床版箱桁

連続開断面箱桁

擁壁構造の変更

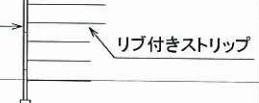
変更前

現場打ちL型擁壁

変更後

大型補強土壁

コンクリートパネル



現場打ちL型擁壁

大型補強土壁

5. 対応方針(原案)

国道2号 神戸西バイパス

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・東播磨地域～神戸市間を結ぶ主要道路(国道2号、第二神明道路)の交通量が、交通容量を超過。
- ・第二神明道路のうち、神戸西バイパス未整備区間の並行区間では、第二神明道路全体の5割を占める年間約500回の渋滞が発生しているが、整備により、交通混雑の緩和が期待できる。
- ・並行する第二神明道路は全国の自動車専用道路と比較して事故件数が多いが、整備により、事故の減少が期待され、また事故等による通行止時の迂回路としても期待できる。
- ・神戸西バイパスの整備により、神戸市中心部へのアクセス性の向上が期待できる。
- ・費用便益比(B/C)は1.4。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・神戸西バイパスは、これまでに専用部5.6km、一般部4.4kmを供用。
- ・現在、残る区間の用地買収、改良工事を推進。
- ・引き続き事業を推進し、一般部の早期の供用を目指す。

神戸西バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事 業 継 続



No. 9-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成22年度第1回

国道2号
こうべにし
神戸西バイパス
【再評価】

平成22年7月
近畿地方整備局

株式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道2号 神戸西バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	事業の効率性 ■ 優益が費用を上回っている	指標		指標チェックの根拠
		全 体 : 效用便益比 (B/C) = 1.4 (経済的就寝在施設 (B-C) = 1,127億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.19%)	基幹事業 : 效用便益比 (B/C) = 4.7 (経済的就寝在施設 (B-C) = 1,764億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 16.39%)	
●事業の効果や必要性を評価するための指標				
政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)			指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモービ ティの確保	現道等の年間旅費損失時間及び削減率	区間3 (費用便益分析対象区間) について 旅費損失時間 (第3区) : 96.16万人・時間/年 旅費損失削減時間 (第3区) : 336万人・時間/年 区間B (並行区間) について: (第一神明道路、一般国道2号、神戸明石橋、西神中央線) 並行区間等の旅費損失時間: 1,245万人・時間/年 並行区間等の旅費削減率: 約3割削減		
	現道等における混雑時旅行速度が70km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される			
	現道又は並行区間等における路切交通遮断量が10,000台/時/日以上の路切遮断量が期待される			
	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する			
	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	三木市～JR新神戸駅 (所要時間: 62分⇒57分)		
	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	三木市～神戸空港 (所要時間: 63分⇒57分)		
物流効率化の支 援	■ 重点港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	三木市～神戸港 (所要時間: 85分⇒50分)		
	農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上			
	現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

新市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<ul style="list-style-type: none"> □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある幹線道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり □ 中心市街地内で行う事業である □ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下ある市街地内での事業である □ D1D2区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する □ 対象区間が現在連結道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる □ 対象区間が現在連結道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる
国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自転道としての位置づけあり	
	■ 地域高規格道路の位置づけあり	神戸西バイパス
	□ 当該路線が新たに複数都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	加古川市～神戸市
	□ 現道等における交通不能区間を解消する	
	□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一體的発展が阻害されている地区を解消する	
	■ 観点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	神戸2010ビジョン豊か創造都市こうべ（神戸市）
	■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	王子動物園（年間観光客入り込み数：142万人/年 H21年）、須磨海岸水族園（年間観光客入り込み数：137万人/年H21年）
	□ 新規整備の公共交通施設へ連絡する道路である	
	□ 行者・自転車のための生活空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> □ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/24h以上、歩行者交通量が500人/日以上全てに該当する区間ににおいて、自転車利用空間を設置することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の便適・安全性の向上が期待できる
	□ パリアフリー新法基づく待合施設が新たにパリアフリー化される	
	□ 対象区間が電線地中化5ヵ年計画に位置づけあり	
	□ 市街地又は歴史景観地区（住宅的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路における無電柱化による美意識の形成	市街地又は歴史景観地区（住宅的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路における無電柱化による美意識の形成
安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三木市～兵庫県立災害医療センター（所要時間：60分⇒55分）

3. 安全 の確保	安全な生活環境	現道等に危険事故率が50件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は歩道不適切区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる。
		当該区間の自動車交通量が1,000台/日以上（当該区間が通学路である場合は500台/日以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間に通学路である場合は40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合はにおいて、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される。
災害への備え	近隣市へのルート	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する傾向を緩和する。 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急輸送事業計画に位置づけがある、又は地元消防本部緊急救援事業ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」といいう）、として位置づけあり
	緊急輸送道路	■ 緊急輸送道路が運行止になつた場合に大幅な迂回を強いるられる区間の代替路線を形成する □ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（が指標としての位置づけがある場合） □ 現道等の防災点検又は震災点検要対策施設もしくは保養の必要のある老朽構築における通行規制等が終消される □ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解除する
4. 落成	地域環境の安全	C O 2 排出削減量：31,507 t / 年
		● 対象道路の整備により削減される自動車からのC O 2 排出量
生活環境の改 善・保全	生活環境の改 善・保全	（推計結果） 評価対象区間（現道／並行区間等）：（第二神明道路、一般国道2号、神戸明石線、西神中央線） 排出削減量：265 t / 年、排出削減率：35%削減 （バイバス事業の場合）バイバス等についての排出削減量：181 t / 年
		● 現道等における自動車からのC O 2 排出削減量 （推計結果） 評価対象区間（現道／並行区間等）：（第二神明道路、一般国道2号、神戸明石線、西神中央線） 排出削減量：26 t / 年、排出削減率：41%削減 （バイバス事業の場合）バイバス等についての排出削減量：17 t / 年
5. その他 の関係	他の「み」ほかと の関係	現道等で騒音レベルが既に標準限度を超している区間に於いて、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある □ その他、環境や景観上の効果が期待される
		□ 開通する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり □ 他機関との連携プログラムに位置づけられている □ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

(再評価)

様式一2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B.P. その他の別
国道2号	神戸西バイパス	専用部：12.5km 一般部：8.4km	地域高規格	B.P.

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
25,400	専用部：4車線 一般部：2車線	近畿地方整備局

① 費 用

	事 業 費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	1,827億円	364億円	2,191億円
うち残事業分	498億円	193億円	690億円
基準年における現在価値(C)	2,459億円	114億円	2,574億円
うち残事業分	419億円	61億円	479億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成31年度			
単年便益 (初年便益)	222億円	26億円	5.0億円	253億円
基準年における現在価値(B)	3,247億円	381億円	73億円	3,701億円
うち残事業分	1,957億円	254億円	32億円	2,243億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	1,127億円
経済的内部收益率（事業全体）	5.1%
費用便益比（残事業）	4.7
経済的純現在価値（残事業）	1,764億円
経済的内部收益率（残事業）	16.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	25,400台/日	±10%	4.2~5.1
事業費	498億円	±10%	4.3~5.1
事業期間	8年	±20%	4.4~4.9

交通状況の変化

様式－3①

事業名：神戸西バイパス（事業全体）

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	専用部 (12.5km)	交通量※1	[台/日]	0	
		走行時間※2	[分]	0	
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	
	一般部 (8.4km)	交通量※1	[台/日]	0	
		走行時間※2	[分]	0	
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	
②主な周辺道路※4	第二神明道路 (12.9km)	交通量	[台/日]	95,800	
		走行時間	[分]	17	
		走行時間費用	[億円/年]	298.27	
	国道2号 (12.4km)	交通量	[台/日]	32,600	
		走行時間	[分]	34	
		走行時間費用	[億円/年]	204.28	
	西神中央線 (7.1km)	交通量	[台/日]	47,900	
		走行時間	[分]	17	
		走行時間費用	[億円/年]	135.43	
	神戸明石線 (5.9km)	交通量	[台/日]	27,900	
		走行時間	[分]	32	
		走行時間費用	[億円/年]	154.16	
		交通量	[台/日]	0	
		走行時間	[分]	0	
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	
③その他道路合計 (26.388.6km)		走行時間費用	[億円/年]	190,672.20	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	
合計：26,447.8km			191,464.34	191,246.02	
			走行時間短縮便益 (A - B)		
			218.32		

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

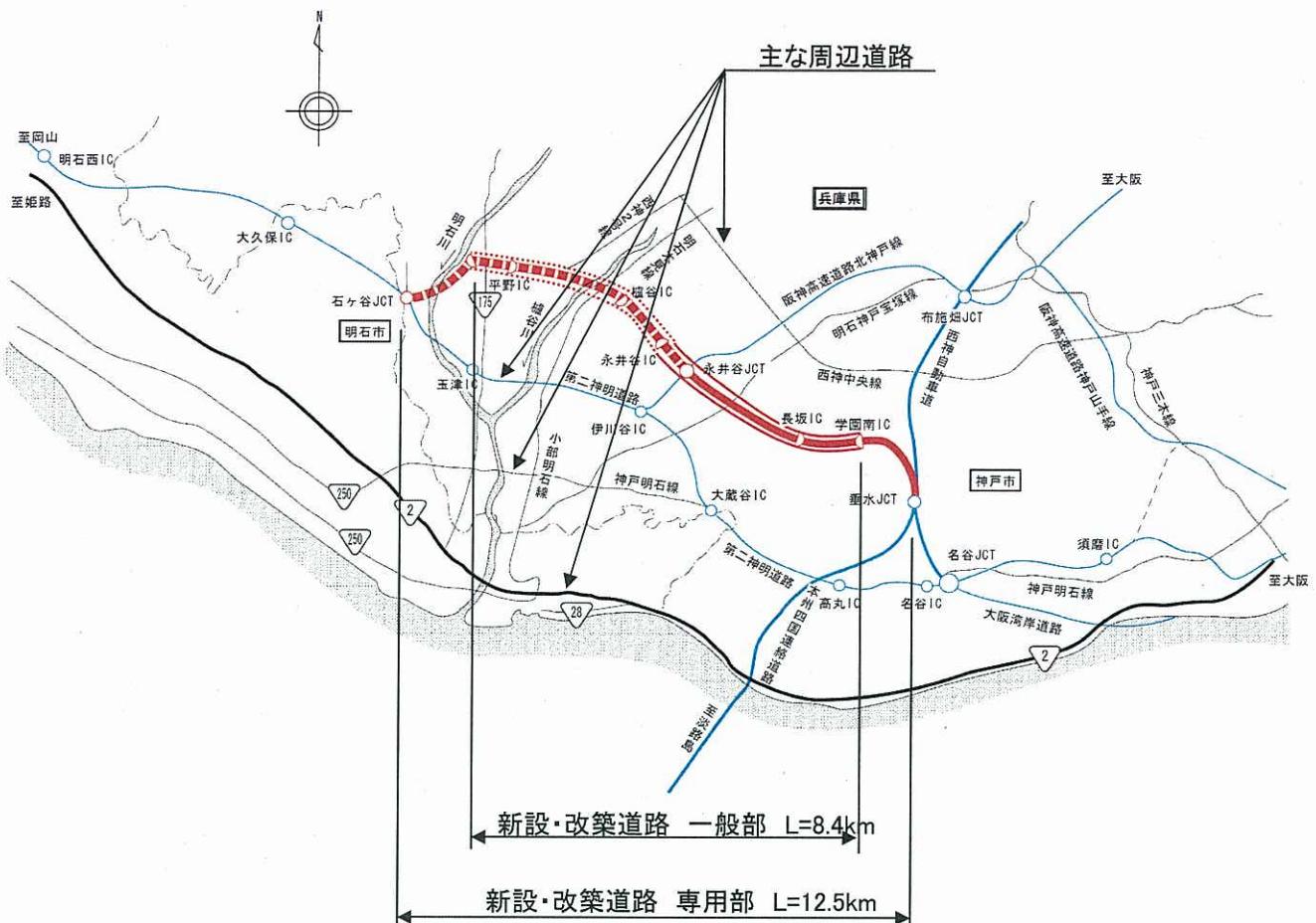
※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

事業名：神戸西バイパス（残事業）

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	専用部 (6.9km)	交通量※1	[台/日]	0	
		走行時間※2	[分]	0	
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	
	一般部 (4.0km)	交通量※1	[台/日]	0	
		走行時間※2	[分]	0	
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	
②主な周辺道路 ※4	第二神明道路 (12.9km)	交通量	[台/日]	88,100	
		走行時間	[分]	16	
		走行時間費用	[億円/年]	268.01	
	国道2号 (12.4km)	交通量	[台/日]	32,100	
		走行時間	[分]	34	
		走行時間費用	[億円/年]	200.06	
	西神中央線 (7.1km)	交通量	[台/日]	44,700	
		走行時間	[分]	16	
		走行時間費用	[億円/年]	121.98	
	神戸明石線 (5.9km)	交通量	[台/日]	25,900	
		走行時間	[分]	31	
		走行時間費用	[億円/年]	136.52	
		交通量	[台/日]	0	
		走行時間	[分]	0	
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	
③その他道路合計 (26,398.6km)		走行時間費用	[億円/年]	190,650.10	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	
合計：26,447.8km			191,376.66	191,246.02	
			走行時間短縮便益 (A - B)		
			130.65		

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

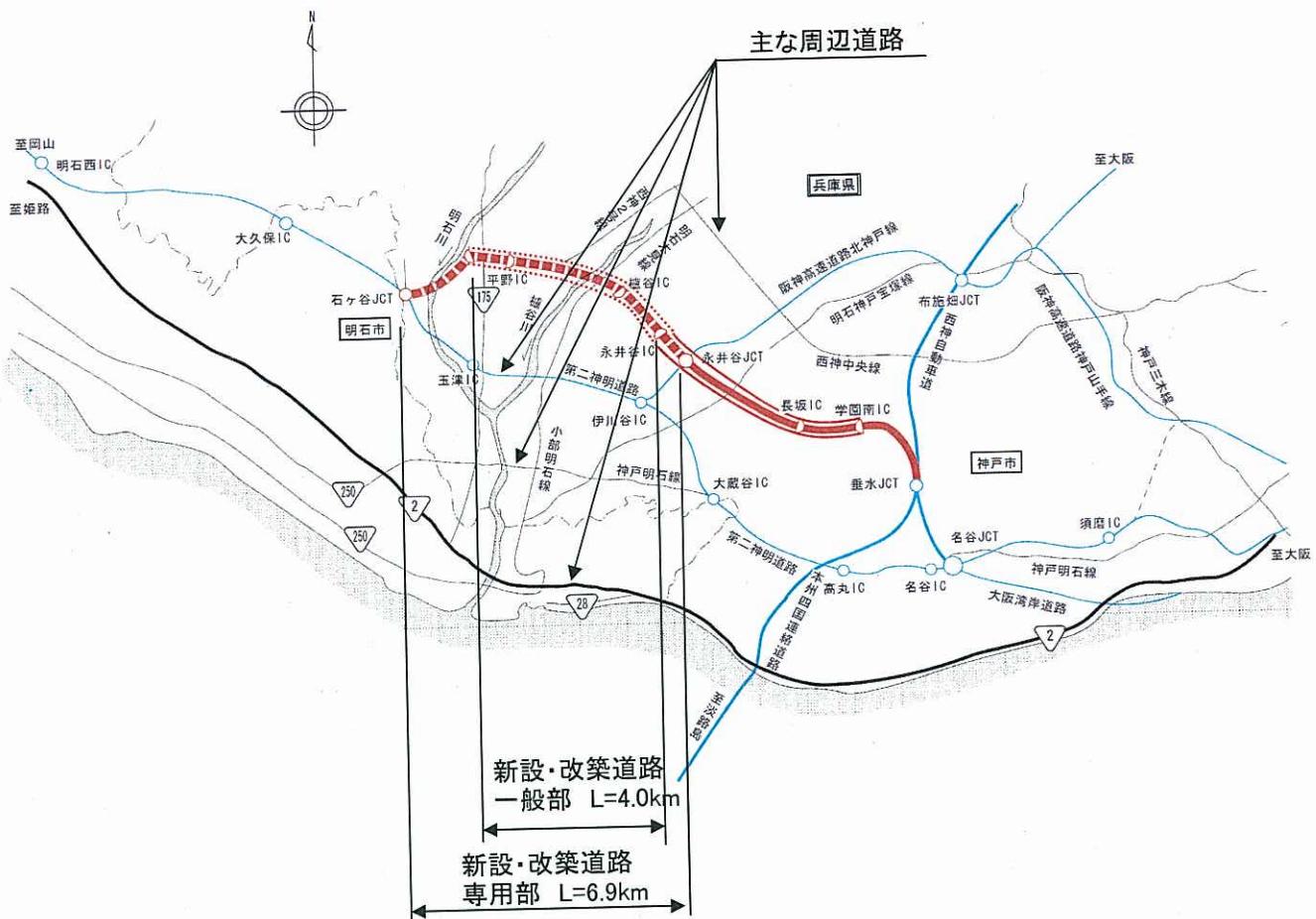
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：神戸西バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成22年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日
		考慮した理由を記載
交通流推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/>
		その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

事業名：神戸西バイパス

(3)

		項目	チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	面的に考慮 <input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮 <input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
		考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載
		考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)		
その他			

事業名：神戸西バイパス

(4)

項目		チェック欄
費用の算定	事業費	<input type="checkbox"/> 詳細事業計画による値を採用 <input type="checkbox"/> 標準投資パターンを採用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(残事業分は等分割とした)
	維持管理費	<input type="checkbox"/> 維持管理費の設定根拠を記載 <input type="checkbox"/> 既存の路線の実績を参考に設定
	雪寒費	<input type="checkbox"/> 積雪地域または寒冷地域である
	その他	<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 国道2号 神戸西バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.43	12.5	5.38
0.27	8.4	2.27

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-31年目	S 63	2.3699	94.9	16.13	36.78		
-30年目	H 1	2.2788	97.4	10.07	21.51		
-29年目	H 2	2.1911	99.6	20.85	41.89		
-28年目	H 3	2.1068	102.0	34.72	65.47		
-27年目	H 4	2.0258	103.4	47.27	84.56		
-26年目	H 5	1.9479	103.7	172.13	295.19		
-25年目	H 6	1.8730	103.6	137.92	227.66		
-24年目	H 7	1.8009	103.0	349.85	558.48		
-23年目	H 8	1.7317	102.4	120.44	185.95		
-22年目	H 9	1.6651	103.4	217.15	319.27		
-21年目	H 10	1.6010	102.8	31.50	44.80		
-20年目	H 11	1.5395	101.3	21.17	29.38		
-19年目	H 12	1.4802	99.7	33.48	45.38		
-18年目	H 13	1.4233	98.4	32.49	42.90		
-17年目	H 14	1.3686	96.6	13.70	17.73		
-16年目	H 15	1.3159	95.4	13.82	17.40		
-15年目	H 16	1.2653	94.4	11.95	14.63		
-14年目	H 17	1.2167	93.2	11.43	13.62		
-13年目	H 18	1.1699	92.5	10.00	11.55		
-12年目	H 19	1.1249	91.7	9.55	10.70		
-11年目	H 20	1.0816	91.3	5.26	5.69		
-10年目	H 21	1.0400	91.3	5.93	6.17		
-9年目	H 22	1.0000	91.3	2.86	2.86		
-8年目	H 23	0.9615	91.3	62.20	59.81		
-7年目	H 24	0.9246	91.3	62.20	57.51		
-6年目	H 25	0.8890	91.3	62.20	55.30		
-5年目	H 26	0.8548	91.3	62.20	53.17		
-4年目	H 27	0.8219	91.3	62.20	51.12		
-3年目	H 28	0.7903	91.3	62.20	49.16		
-2年目	H 29	0.7599	91.3	62.20	47.27		
-1年目	H 30	0.7307	91.3	62.23	45.47		
供用開始年次	H 31	0.7026	91.3			7.28	5.11
1年目	H 32	0.6756	91.3			7.28	4.92
2年目	H 33	0.6496	91.3			7.28	4.73
3年目	H 34	0.6246	91.3			7.28	4.55
4年目	H 35	0.6006	91.3			7.28	4.37
5年目	H 36	0.5775	91.3			7.28	4.20
6年目	H 37	0.5553	91.3			7.28	4.04
7年目	H 38	0.5339	91.3			7.28	3.89
8年目	H 39	0.5134	91.3			7.28	3.74
9年目	H 40	0.4936	91.3			7.28	3.59
10年目	H 41	0.4746	91.3			7.28	3.45
11年目	H 42	0.4564	91.3			7.28	3.32
12年目	H 43	0.4388	91.3			7.28	3.19
13年目	H 44	0.4220	91.3			7.28	3.07
14年目	H 45	0.4057	91.3			7.28	2.95
15年目	H 46	0.3901	91.3			7.28	2.84
16年目	H 47	0.3751	91.3			7.28	2.73
17年目	H 48	0.3607	91.3			7.28	2.63
18年目	H 49	0.3468	91.3			7.28	2.52
19年目	H 50	0.3335	91.3			7.28	2.43
20年目	H 51	0.3207	91.3			7.28	2.33
21年目	H 52	0.3083	91.3			7.28	2.24
22年目	H 53	0.2965	91.3			7.28	2.16
23年目	H 54	0.2851	91.3			7.28	2.08
24年目	H 55	0.2741	91.3			7.28	2.00

25年目	H 56	0.2636	91.3			7.28	1.92
26年目	H 57	0.2534	91.3			7.28	1.84
27年目	H 58	0.2437	91.3			7.28	1.77
28年目	H 59	0.2343	91.3			7.28	1.71
29年目	H 60	0.2253	91.3			7.28	1.64
30年目	H 61	0.2166	91.3			7.28	1.58
31年目	H 62	0.2083	91.3			7.28	1.52
32年目	H 63	0.2003	91.3			7.28	1.46
33年目	H 64	0.1926	91.3			7.28	1.40
34年目	H 65	0.1852	91.3			7.28	1.35
35年目	H 66	0.1780	91.3			7.28	1.30
36年目	H 67	0.1712	91.3			7.28	1.25
37年目	H 68	0.1646	91.3			7.28	1.20
38年目	H 69	0.1583	91.3			7.28	1.15
39年目	H 70	0.1522	91.3			7.28	1.11
40年目	H 71	0.1463	91.3			7.28	1.06
41年目	H 72	0.1407	91.3			7.28	1.02
42年目	H 73	0.1353	91.3			7.28	0.98
43年目	H 74	0.1301	91.3			7.28	0.95
44年目	H 75	0.1251	91.3			7.28	0.91
45年目	H 76	0.1203	91.3			7.28	0.88
46年目	H 77	0.1157	91.3			7.28	0.84
47年目	H 78	0.1112	91.3			7.28	0.81
48年目	H 79	0.1069	91.3			7.28	0.78
49年目	H 80	0.1028	91.3	-573.22	-58.93	7.28	0.75
合計				1254.09	2459.45	363.95	114.26
単純事業費計				1827.31		363.95	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 国道2号 神戸西バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.43	6.9	2.97
0.27	4.0	1.08

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-8年目	H 23	0.9615	91.3	62.20	59.81		
-7年目	H 24	0.9246	91.3	62.20	57.51		
-6年目	H 25	0.8890	91.3	62.20	55.30		
-5年目	H 26	0.8548	91.3	62.20	53.17		
-4年目	H 27	0.8219	91.3	62.20	51.12		
-3年目	H 28	0.7903	91.3	62.20	49.16		
-2年目	H 29	0.7599	91.3	62.20	47.27		
-1年目	H 30	0.7307	91.3	62.23	45.47		
供用開始年次	H 31	0.7026	91.3			3.85	2.71
1年目	H 32	0.6756	91.3			3.85	2.60
2年目	H 33	0.6496	91.3			3.85	2.50
3年目	H 34	0.6246	91.3			3.85	2.41
4年目	H 35	0.6006	91.3			3.85	2.31
5年目	H 36	0.5775	91.3			3.85	2.23
6年目	H 37	0.5553	91.3			3.85	2.14
7年目	H 38	0.5339	91.3			3.85	2.06
8年目	H 39	0.5134	91.3			3.85	1.98
9年目	H 40	0.4936	91.3			3.85	1.90
10年目	H 41	0.4746	91.3			3.85	1.83
11年目	H 42	0.4564	91.3			3.85	1.76
12年目	H 43	0.4388	91.3			3.85	1.69
13年目	H 44	0.4220	91.3			3.85	1.63
14年目	H 45	0.4057	91.3			3.85	1.56
15年目	H 46	0.3901	91.3			3.85	1.50
16年目	H 47	0.3751	91.3			3.85	1.45
17年目	H 48	0.3607	91.3			3.85	1.39
18年目	H 49	0.3468	91.3			3.85	1.34
19年目	H 50	0.3335	91.3			3.85	1.29
20年目	H 51	0.3207	91.3			3.85	1.24
21年目	H 52	0.3083	91.3			3.85	1.19
22年目	H 53	0.2965	91.3			3.85	1.14
23年目	H 54	0.2851	91.3			3.85	1.10
24年目	H 55	0.2741	91.3			3.85	1.06
25年目	H 56	0.2636	91.3			3.85	1.02
26年目	H 57	0.2534	91.3			3.85	0.98
27年目	H 58	0.2437	91.3			3.85	0.94
28年目	H 59	0.2343	91.3			3.85	0.90
29年目	H 60	0.2253	91.3			3.85	0.87
30年目	H 61	0.2166	91.3			3.85	0.83
31年目	H 62	0.2083	91.3			3.85	0.80
32年目	H 63	0.2003	91.3			3.85	0.77
33年目	H 64	0.1926	91.3			3.85	0.74
34年目	H 65	0.1852	91.3			3.85	0.71
35年目	H 66	0.1780	91.3			3.85	0.69
36年目	H 67	0.1712	91.3			3.85	0.66
37年目	H 68	0.1646	91.3			3.85	0.63
38年目	H 69	0.1583	91.3			3.85	0.61
39年目	H 70	0.1522	91.3			3.85	0.59
40年目	H 71	0.1463	91.3			3.85	0.56
41年目	H 72	0.1407	91.3			3.85	0.54
42年目	H 73	0.1353	91.3			3.85	0.52
43年目	H 74	0.1301	91.3			3.85	0.50
44年目	H 75	0.1251	91.3			3.85	0.48
45年目	H 76	0.1203	91.3			3.85	0.46
46年目	H 77	0.1157	91.3			3.85	0.45
47年目	H 78	0.1112	91.3			3.85	0.43
48年目	H 79	0.1069	91.3	0.00	0.00	3.85	0.41
49年目	H 80	0.1028	91.3			3.85	0.40
合 計				497.63	418.81	192.71	60.50
単純事業費計				497.63		192.71	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

所在地：神戸西ハイウェイ
国道路名：国道2号

更益の現在価値算定表(事業全体)

便益の現在価値算定表(産業)

箇所名: 国道2号 神戸西バイパス

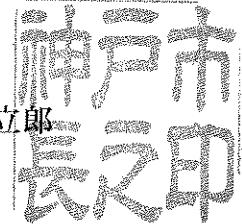
様式5

年次	年度 (第3年) 総走行距離 (近畿圏海ブロック) 乗用車種 全車	GDP フレータ (A)			走行時間便益 (億円) 乗用車種 普通貨物			走行経費便益 (億円) 乗用車種 普通貨物			事故減少便益 (億円) 乗用車種 普通貨物			合計 (億円) 乗用車種 普通貨物		
		乗用車類	小型貨物	① 計	乗用車類	①×(A)	乗用車類	② 計	乗用車類	③×(A)	乗用車類	④ 計	乗用車類	⑤×(A)	乗用車類	⑥ 計
供用開始年次 H 31	0.95733	0.95862	0.026	91.3	68.66	117.81	46.35	132.81	93.31	8.03	1.65	7.50	17.18	12.07	2.23	1.57
14年目 H 32	0.95864	0.95842	0.6756	91.3	68.80	117.76	46.23	132.59	89.58	8.02	1.65	7.48	17.15	11.58	2.23	1.51
2年目 H 33	0.95864	0.95842	0.6496	91.3	68.51	117.73	46.16	132.40	86.00	8.01	1.65	7.46	17.12	11.12	2.23	1.45
3年目 H 34	0.95864	0.95842	0.6285	91.3	68.42	117.70	46.08	132.20	82.57	8.00	1.64	7.45	17.10	10.68	2.22	1.39
4年目 H 35	0.95863	0.95841	0.6006	91.3	68.32	117.68	46.01	132.01	79.28	7.99	1.64	7.44	17.07	10.25	2.22	1.33
5年目 H 36	0.95863	0.95841	0.5775	91.3	68.23	117.65	45.94	131.81	76.12	7.98	1.64	7.43	17.05	9.84	2.22	1.28
6年目 H 37	0.95863	0.95841	0.5555	91.3	68.14	117.62	45.86	131.62	73.09	7.97	1.64	7.42	17.02	9.45	2.21	1.23
7年目 H 38	0.95863	0.95841	0.5339	91.3	68.04	117.59	45.79	131.42	70.17	7.96	1.63	7.40	17.00	9.07	2.21	1.18
8年目 H 39	0.95863	0.95840	0.5134	91.3	67.93	117.56	45.72	131.23	67.37	7.95	1.63	7.39	16.97	8.71	2.21	1.13
9年目 H 40	0.95863	0.95840	0.4936	91.3	67.86	117.53	45.65	131.04	64.68	7.94	1.63	7.38	16.94	8.36	2.21	1.09
10年目 H 41	0.95862	0.95840	0.4746	91.3	67.76	117.51	45.57	130.84	62.10	7.92	1.63	7.37	16.92	8.03	2.20	1.05
11年目 H 42	0.95860	0.95840	0.4564	91.3	67.67	117.48	45.50	130.65	59.63	7.91	1.62	7.36	16.89	7.71	2.20	1.00
12年目 H 43	0.95859	0.95840	0.4388	91.3	66.96	117.46	45.45	129.87	56.99	7.83	1.62	7.35	16.80	7.37	2.18	0.96
13年目 H 44	0.95837	0.95840	0.4220	91.3	66.26	117.44	45.40	129.10	54.48	7.75	1.62	7.34	16.71	7.05	2.17	0.91
14年目 H 45	0.95826	0.95840	0.4057	91.3	65.56	117.42	45.35	128.33	52.06	7.67	1.62	7.33	16.62	6.74	2.15	0.87
15年目 H 46	0.95814	0.95839	0.39232	91.3	64.85	117.40	45.30	127.55	49.76	7.58	1.62	7.33	16.53	6.45	2.13	0.83
16年目 H 47	0.95802	0.95839	0.39226	91.3	64.15	117.38	45.25	126.78	47.56	7.50	1.61	7.32	16.43	6.16	2.12	0.79
17年目 H 48	0.95800	0.95839	0.39220	91.3	63.44	117.36	45.20	126.01	45.45	7.42	1.61	7.31	16.34	5.89	2.10	0.76
18年目 H 49	0.95877	0.95839	0.39213	91.3	62.74	117.34	45.15	125.23	43.43	7.34	1.61	7.30	16.25	5.63	2.08	0.72
19年目 H 50	0.95865	0.95839	0.39207	91.3	62.03	117.33	45.10	124.46	41.51	7.25	1.61	7.29	16.16	5.39	2.07	0.69
20年目 H 51	0.95854	0.95839	0.39201	91.3	61.33	117.31	45.05	123.69	39.67	7.17	1.61	7.28	16.06	5.15	2.05	0.66
21年目 H 52	0.95843	0.95838	0.39201	91.3	60.63	117.29	45.00	122.91	37.89	7.09	1.61	7.28	15.97	4.92	2.03	0.63
22年目 H 53	0.95824	0.95839	0.39200	91.3	59.92	117.27	44.95	122.14	36.21	7.01	1.60	7.27	15.88	4.71	2.02	0.60
23年目 H 54	0.95810	0.95839	0.39218	91.3	59.32	117.25	44.90	121.37	34.60	6.92	1.60	7.26	15.79	4.50	2.00	0.57
24年目 H 55	0.95796	0.95839	0.39217	91.3	58.51	117.23	44.85	120.59	33.05	6.84	1.60	7.25	15.69	4.30	1.99	0.54
25年目 H 56	0.95782	0.95839	0.39216	91.3	57.81	117.21	44.80	119.82	31.58	6.76	1.60	7.24	15.60	4.11	1.97	0.52
26年目 H 57	0.95766	0.95836	0.39161	91.3	57.10	117.19	44.75	119.05	30.17	6.68	1.60	7.24	15.51	3.93	1.95	0.49
27年目 H 58	0.95751	0.95838	0.39154	91.3	56.40	117.17	44.70	118.27	28.82	6.60	1.59	7.23	15.42	3.76	1.94	0.47
28年目 H 59	0.95735	0.95838	0.39146	91.3	55.69	117.15	44.65	117.50	27.53	6.51	1.59	7.22	15.33	3.59	1.92	0.45
29年目 H 60	0.95719	0.95838	0.39139	91.3	54.99	117.13	44.60	116.72	26.30	6.43	1.59	7.21	15.23	3.49	1.90	0.43
30年目 H 61	0.95702	0.95838	0.39131	91.3	54.29	117.11	44.55	115.95	25.11	6.35	1.59	7.20	15.14	3.28	1.89	0.41
31年目 H 62	0.95685	0.95838	0.39124	91.3	53.58	117.10	44.50	115.18	24.99	6.27	1.59	7.20	15.05	3.13	1.87	0.39
32年目 H 63	0.95668	0.95838	0.39116	91.3	52.88	117.08	44.45	114.40	22.91	6.18	1.59	7.19	14.96	3.00	1.85	0.37
33年目 H 64	0.95650	0.95838	0.39108	91.3	52.17	117.06	44.40	113.63	21.89	6.10	1.58	7.18	14.86	2.86	1.84	0.35
34年目 H 65	0.95631	0.95837	0.39100	91.3	51.47	117.04	44.35	112.86	20.90	6.02	1.58	7.17	14.77	2.74	1.82	0.34
35年目 H 66	0.95612	0.95837	0.39092	91.3	50.76	117.02	44.30	112.08	19.95	5.94	1.58	7.16	14.68	2.61	1.81	0.32
36年目 H 67	0.95593	0.95837	0.39084	91.3	50.06	117.00	44.25	111.31	19.06	5.85	1.58	7.16	14.59	2.50	1.79	0.31
37年目 H 68	0.95573	0.95837	0.39075	91.3	49.35	116.98	44.20	110.54	18.19	5.77	1.58	7.15	14.50	2.39	1.77	0.29
38年目 H 69	0.95552	0.95837	0.39067	91.3	48.65	116.96	44.15	109.76	17.38	5.69	1.57	7.14	14.40	2.28	1.76	0.28
39年目 H 70	0.95531	0.95837	0.39059	91.3	47.94	116.94	44.10	108.99	16.59	5.61	1.57	7.13	14.31	2.18	1.74	0.26
40年目 H 71	0.95510	0.95837	0.39049	91.3	47.24	116.92	44.05	108.21	15.83	5.52	1.57	7.12	14.22	2.08	1.72	0.25
41年目 H 72	0.95486	0.95837	0.39040	91.3	46.54	116.90	44.00	107.44	15.12	5.44	1.57	7.12	14.13	1.99	1.71	0.24
42年目 H 73	0.95463	0.95837	0.39030	91.3	45.83	116.88	43.95	106.67	14.43	5.36	1.57	7.11	14.03	1.90	1.69	0.23
43年目 H 74	0.95439	0.95836	0.39021	91.3	45.13	116.86	43.90	105.89	13.78	5.28	1.57	7.10	13.94	1.81	1.67	0.22
44年目 H 75	0.95414	0.95836	0.39011	91.3	44.42	116.85	43.85	105.12	13.15	5.19	1.56	7.09	13.85	1.73	1.66	0.21
45年目 H 76	0.95389	0.95836	0.39001	91.3	43.72	116.83	43.80	104.35	12.55	5.11	1.56	7.08	13.76	1.66	1.64	0.20
46年目 H 77	0.95362	0.95835	0.39001	91.3	43.01	116.81	43.75	103.57	11.98	5.03	1.56	7.07	13.67	1.58	1.63	0.19
47年目 H 78	0.95335	0.95835	0.39001	91.3	42.31	116.79	43.70	102.80	11.43	4.95	1.56	7.06	13.57	1.51	1.61	0.18
48年目 H 79	0.95307	0.95835	0.39001	91.3	41.60	116.77	43.65	102.03	10.91	4.87	1.56	7.05	13.48	1.44	1.59	0.17
49年目 H 80	0.95277	0.95835	0.39001	91.3	40.90	116.75	43.60	101.25	10.41	4.78	1.56	7.04	13.39	1.38	1.58	0.16
合計					2,867.58	861.59	2,242.95	5,972.03	80.00	32.48	98.00	32.48	98.00	2,243.05		

神建道計第 258 号
平成 22 年 7 月 12 日

近畿地方整備局長 上総 周平 様

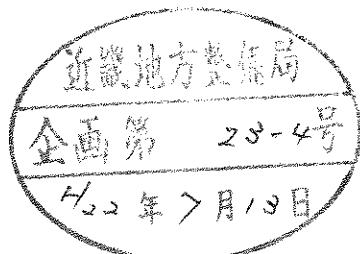
神戸市長 矢田 立郎



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について
(回答)

平成 22 年 6 月 28 日付、国近整企画第 11 号により意見照会のありました見出しの件について、別紙のとおり回答いたします。

神戸市建設局道路部計画課
広域幹線係 久保田、森
TEL : 078-322-5396



<事業名：国道175号 平野拡幅>

○神戸市長の意見：

国道175号は神戸市内を南北に連絡する重要な幹線道路である。

昨年度末に平野小学校前の区間が拡幅され渋滞が解消されたことから、引き続き事業を継続するとともに、通行の安全性を確保するためにも残る

1. 3kmの区間を早期に拡幅整備することが必要であると考える。

<事業名：国道2号 神戸西バイパス>

○神戸市長の意見：

神戸西バイパスは、交通混雑が著しい神戸西部地域において、第二神明道路とともに東西の広域交通を分担する広域幹線道路である。

第二神明道路の交通渋滞を解消し神戸市都心部へのアクセスを向上させるためにも、事業を継続し、現在整備が行われている一般部を早期供用させるとともに、専用部についても早期延伸を図るべきと考える。